

令和5年度第1回埼玉県国民健康保険運営協議会 議事概要

- ・ 日 時 令和5年6月12日(月)午後1時～午後2時
- ・ 場 所 埼玉教育会館 201・202会議室
- ・ 出席委員 15名
 - 【被保険者代表委員】
青木委員、武藤委員、持木委員、岡安委員
 - 【保険医又は保険薬剤師代表委員】
廣澤委員、小室委員、中村委員、齊田委員
 - 【公益代表委員】
渡辺委員、山崎委員、伊藤委員、横山委員
 - 【被用者保険等保険者代表委員】
増尾委員、柴田委員、渡邊委員

1 議事(1)埼玉県国民健康保険運営方針(第3期)の原案について

<事務局>

- ・ 資料1-1 埼玉県国民健康保険運営方針(第3期)【原案】について説明。

【主な質疑・意見】

- ・ 被保険者の減少や高齢化が進み、無職者や低所得者が多い状況にあるので、国保の公費負担を引き上げるべきである。
- ・ 法定外一般会計繰入金削減・解消について、「削減・解消すべき赤字」のほかに決算補填等以外の目的の法定外一般会計繰入金も解消する旨の記載があり、整合性がなく、何を解消すべきか分かりにくい。
- ・ 保険税水準の統一について、完全統一を実現するために目標とする収納率の差は何ポイントか。
- ・ 保険税水準の統一の進め方について、「位置付けます」と「実現します」はどのように使い分けているのか。
- ・ 納付金の算定において、令和6年度から医療費水準を反映させないこととしているが、医療アクセスを改善することが先ではないか。
- ・ 賦課方式について、平等割を無くして子どもの均等割を無くさないのは、今行われている子育て支援政策とは逆行する。
- ・ 賦課限度額の統一について、市町村によって改正時期が1年遅れにならないよう、市町村の運営協議会の委員にも分かりやすい記載にした方が良い。
- ・ 海外療養費の支給について、内容を現状・課題・目標・取組と分けて整理した方が良い。
- ・ データヘルスの推進に係る取組について、各市町村が人的資源の少ない中でデータ分析まで実施するのは負担が大きいですが、県として何か支援を考えているのか。

- ・ 生活習慣病重症化予防においては、病気になる前の重症化予防が重要なので、一般的に言う「未病」の段階での重症化予防の取組だと分かるようにした方が良い。
- ・ 県内の医療費や健診データ等の情報を有効に分析、活用するため、市町村へ提供の際はデータファイルベースで提供した方が良い。
- ・ 別添として減免基準があるが、方針に付属させる趣旨と必要性が分からない。

2 議事（2）令和5年度埼玉県国民健康保険事業特別会計予算について

<事務局>

- ・ 資料2により、令和5年度埼玉県国民健康保険事業特別会計予算の概要について説明。

【主な質疑・意見】

- ・ 国民健康保険法の改正により、産前産後期間における国民健康保険税の免除に係る免除相当額を国、都道府県、市町村で負担することになったが、どのような事務の流れとなるのか。